

恵海著「2011年を日本再構築の年に」大機小機、日本経済新聞 2010年12月18日朝刊を読む

2011年を日本再構築の年に

1. (1) この1年の政治、財政・金融政策の混乱は未曾有の事態だ。
  - (2) 国益や国富の損失は巨大であり、国民は将来を不安視し、国が滅びるとの危惧を抱く人も増えつつある。
2. 来年こそは、
  - (1) 日本を現在の危機的状況から救い出し、
  - (2) 国民が安心し、
  - (3) 世界から尊敬される  
国として再構築する1年としなければならない。
3. 安全保障面では...
  - (1) 世界で最も不安定である東アジアの安全を確保するため、日本が十分な役割を果たすことだ。
  - (2) 具体的には...  
直ちに憲法解釈を変更し集団的自衛権の行使を認め、日米同盟を盤石にすべきだ。  
また、新鋭戦闘機、ミサイル・ネットワークなど装備の充実、防衛体制の整備も急務ではないか。
4. 財政面では...
  - (1) 現在のばらまき政策を継続すれば、一般政府債務の国内総生産(GDP)比率が来年末には240%と世界最悪を更新する。
  - (2) 第1に、国会・地方議会議員をすべて20%削減し、予算を10%カットする。
  - (3) 同時に、「国民の60%が消費税率引き上げやむなし」とみていることを勸案し、2011年中に国会で消費税率引き上げを議決し、12年度中にも実行することだ。
  - (4) 国民も「高福祉は高負担」の覚悟を決めるべきだ。

- 5 . 日本が成長軌道に復帰するためには
  - ( 1 )生産性の向上が不可欠だ。
  - ( 2 )先端技術を具体化した高生産性設備を指定し、
  - ( 3 )大幅な加速度償却を認め、
  - ( 4 )償却損金の上限を撤廃することが以上競争力強化に直結する。
  - ( 5 )加速度償却の縮小は利敵行為だ。
- 6 . ( 1 )米連邦準備理事会(FRB)が 11 月初めに決定した 9 千億ドルの国債購入策は、赤字国債をすべて買い取る計算となる。
  - ( 2 )この超金融緩和策は既に米国内外の金融・資本市場に活況をもたらし、人々の期待を好転させつつある。
  - ( 3 )日本が 20 年も続くデフレから脱却するためには、巨大な需給ギャップの存在を踏まえ、早急に数十兆円の大膽な追加緩和策を実行しなければならない。
- 7 . ( 1 )日本再構築の実効を上げるには、
  - 「政治家が無能だ」
  - 「官僚が近視眼だ」
  - 「経営者がリスクを取らない」などと他者に責任を転嫁しては駄目だ。
  - ( 2 )「現在の混乱と混迷をもたらした責任は、国民一人ひとりの選択の結果にある」という事実をしっかりと受け止めることだ。
- 8 . ( 1 )再構築の過程では、これまで経験したことのない厳しい状況に直面することも想定されるが、
  - ( 2 )国民の連携を強め、来年こそ国家百年の計を開かなければならない。

#### [コメント]

恵海氏の趣旨は一貫し、日本を破滅から救うためにはどうしたらよいかの一点に尽きる。1つ1つの項目を、国民も企業家も官僚も政治家も自分自身のこととして当事者意識を持って自分の力で考え、1つ1つ解決することが大切と確信する。恵海氏の言うように、2011 年を日本再構築の年としたい。

- 2010 年 12 月 18 日 林明夫記 -

